ua-jecon パッケージ

安藤 遼哉（Ryoya Ando）
https://ryoya9826.github.io/

2026 年 11 月 25 日

概要

ua-jecon.sty は，経済学用 BibTeX スタイルファイル jecon.bst をベースに，arxiv フィールドの追加や amsrefs 風の出力対応など，いくつかの拡張を加えた ua-jecon.bst を利用するための環境を提供するパッケージです．

1 ベースとなった作品

本スタイルファイルは，以下のプロジェクトを改変して作成された派生物です．

- **プロジェクト名:** jecon.bst（経済学用 BibTeX スタイルファイル）
- **原著作者:** 武田 史郎（Shiro Takeda）
- **配布元（GitHub）:** https://github.com/ShiroTakeda/jecon-bst
- **ベースバージョン:** Version 6.2.1

2 主な特徴と拡張内容

ua-jecon.bst は，jecon.bst Version 6.2.1 をベースに以下の変更を加えています．

- **追加フィールド:**
  - arxiv: arXiv のプレプリント情報を出力するためのフィールドを追加しました．
  - etranslator: 翻訳者情報などを柔軟に扱うためのフィールドを追加しました．
  - label: ユーザーが明示的に引用ラベルを指定できるフィールドを追加しました．
- **重複エントリへの対応:** 同一著者・同一年のエントリが存在する場合に，自動で a，b などの接尾辞を付与する機能を追加しました．
- amsrefs **対応:** amsrefs パッケージの出力形式に近い整形を行い，参考文献リストと対になる**圧縮ラベル**を .aux に書き出します（本文では \acite がこれを参照できます）．
- **各種設定の変更:**
  - bysame = 0

- authorname = 2
- number.index = 1
- unicode = 1
- bibhang などの出力レイアウトの微調整

3 ライセンス

元制作物である jecon.bst と同様に，LaTeX Project Public License (LPPL) version 1.3 以降の下で配布・改変が可能です.

4 使い方

本パッケージは，プリアンブルで ua-jecon パッケージを読み込むだけで利用できます．内部で自動的に natbib パッケージが読み込まれ, スタイルファイル（\bibliographystyle{ua-jecon}）や専用コマンド（\acite）の定義も行われます.

注意: \bibliographystyle はパッケージ内で指定済みのため，文書中で再度指定しないでください（BibTeX が二重指定のエラーを出します）.

注意: 日本語の処理を含むため，動作環境は **upLaTeX + upBibTeX** または **LuaLaTeX** を想定しています.

```
\documentclass{article}
\usepackage{ua-jecon} % パッケージの読み込み（行のみ）
1

\begin{document}
Citing a reference in the text: \cite{example_key}.
Also you can use \acite{example_key}.

\bibliography{refs}
\end{document}
```

注記: .bib ファイルの具体的な書き方（日本語著者名のフォーマットや特殊なフィールドの使い方など）に関する細かな要件については，ベースとなった**オリジナルの** jecon.bst **のドキュメント（**jecon-example.pdf **等）**をご参照ください.

4.1 \cite と \acite（本文の引用形式）

natbib 標準の \cite などを用いると，従来どおりの形式で引用できます.

一方，本スタイルでは amsrefs **パッケージ風のラベル**（例: 著者が Ando， 発行年が 2026 年であるエントリを [And26] と出力する形式）も利用可能です．このラベルは ua-jecon.bst が自動生成して .aux ファイルに書き込むため，ユーザーが手動でラベルを定義する必要はありません.

ラベルは，著者（または編者）が 1 人のときは姓の先頭 3 文字，複数のときは各人の姓の頭文

字を並べ，発行年の下 2 桁を続けたものです．アクセント付き文字は，UTF-8 で直接書いても，`{\"o}` や `{\L}` のように TEX 記法で書いても，1 文字として数えます．

本文中でこの圧縮ラベルを出力するには，`ua-jecon.sty` で標準提供されている `\acite` コマンドを使用します．（`\acite{キー}*{Thm.~1}` のように記述することで，定理番号などの追記も可能です）

5 出力例

これは `\acite` の出力例です．また，`ua-jecon.bst` の追加機能である `etranslator`, `arxiv`,`label` フィールドの引用テストも行っています．

- 日本語文献の引用テスト [山田・佐藤 24, Thm.1].
- 英語文献の引用テスト [SD23].
- arXiv の引用テスト [Yam24].
- `etranslator` の引用テスト [Non86].
- `label` の引用テスト [TestLabel].
- アクセント付き文字（UTF-8）の引用テスト [Mül20].
- アクセント付き文字（TEX 記法）の引用テスト [Łoś21].

参考文献

[TestLabel] L. Label (2024) “Testing the Label Field”, *Journal of Testing*.

[Łoś21] L. Łoś (2021) “Testing Accented Letters in TEX Notation”, *Journal of Testing*, Vol. 2, pp. 3–4.

[Mül20] M. Müller (2020) “Testing Accented Letters in UTF-8”, *Journal of Testing*, Vol. 1, pp. 1–2.

[Non86] N. Noname (1986) *Fictional Ring Theory*, translated by T. Translator, Vol. 8 of Fictional Studies in Advanced Mathematics : Fictional Univ. Press.

[SD23] John Smith and Jane Doe (2023) “A Test Paper for Economics”, *Journal of Economics*, Vol. 20, No. 2, pp. 100–110.

[Yam24] Taro Yamada (2024) “A Paper with arXiv ID”, *Journal of arXiv Testing*, arXiv:2401.00001.

[山田・佐藤 24] 山田太郎・佐藤花子 (2024) “日本語経済学論文のテスト”, 経済学雑誌, Vol. 10, No. 1, pp. 1–10.

6 更新履歴

Version 0.7.2 (2026-11-25)　`.bbl` 冒頭のコメントで，本家 `jecon.bst` ではなく `ua-jecon` の最新版の入手先（CTAN・GitHub）を案内するように変更．圧縮ラベルを文字単位で生成するように変更し，アクセント付き文字や `{\"o}` のような TEX 記法を含む著者名でも先頭 3 文字が正しく取り出されるように修正．

Version 0.7.1 (2026-11-16)　`\acite` の直前に余分な空白が入る不具合を修正．未定義ラベルの警告を追加．CTAN 公開に向けたライセンス表記の整備．サンプル文献ファイルを `ua-jecon-example.bib` に改名．

Version 0.7 (2026-04-21)　重複エントリへの `a,b` 付与, `label` フィールドの追加, `number.index` フォーマットの調整.

Version 0.6 (2026-04-07)　`ua-jecon.version` 変数の修正，`\harvarditem` コメントの typo 修正.

Version 0.5 (2021-12-20)　`amsrefs` 形式に整形したデータを `.aux` に書き出し.

Version 0.4 (2021-08-25)　`etranslator` フィールドを追加.

Version 0.3 (2021-08-05)　`bst.amsrefs` を追加し，`amsrefs` 形式の出力に対応.

Version 0.2　ベースを `jecon.bst` v6.2.1 に更新.

Version 0.1　`arxiv` フィールドを追加.